

10 これからの金山町

(1) 人々の^{ねが}願いと町の計画

昭和30年、川口村・本名村・沼沢村・横田村の4ヶ村がいっしょになって、新しい「金山村」ができました。昭和33年4月には、名前が「村」から「町」になりました。

金山町のしるし（町章）は、町の人々がみんななかよく助けあってふるさとを大切に、希望^{きぼう}を持って未来^{みらい}に羽ばたこうという気持ちを表しています。みなさんは、金山町をこれからどんな町にしたいと思いますか。

町では、もっと豊かな^{ゆた}住みやすい金山町にしようと、次の三つのことを基本^{きほん}にして、国や県、となりの町や村とも協力^{きょうりょく}しながらいろいろな仕事を進めています。

- 1 自然をたいせつにしてくらす。
- 2 金山町の特性^{とくせい}（いいところ）を生かす。
- 3 「みんなのふるさと金山」として開かれた^{ひら}町にする。

下の写真は、このこととどんな関係があるでしょう。



沼沢湖で楽しむ人々



フェアリーランド金山スキー場



友好都市 羽生市役場